

月	《単元名・教材名》	時数	《単元目標》	観点別評価規準		
				知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4	こんなところが同じだね	1	○様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うことができる。 ○話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもつことができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使っている。	「話すこと・聞くこと」において、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。	これまでの学習をいかして、進んで話したり聞いたりし、相手の伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えようとしている。
	春のうた つづけてみよう	1	◎詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読することができる。	詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。	進んで詩全体の構成や内容の大体を意識し、学習課題に沿って音読しようとしている。
	場面と場面をつなげて読み、考えたことを話そう「白いぼうし」	7	◎登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	積極的に、登場人物の行動や気持ちなどについて叙述を基に捉え、学習課題に沿って、考えたことを話し合おうとしている。
	図書館の達人になろう	1	◎幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。	幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。		読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに進んで気づこうとし、これまでの経験をいかして、地域や学校の図書館の役割や工夫について話し合おうとしている。
	漢字の組み立て	2	◎漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解することができる。	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解している。		漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて進んで理解し、これまでの学習をいかして漢字の組み立てについて考えようとしている。
	漢字辞典の使い方	2	◎漢字辞書の使い方を理解し使うことができる。	漢字辞書の使い方を理解し使っている。		積極的に漢字辞典の使い方を理解し、学習課題に沿って漢字辞典を使おうとしている。
	春の楽しみ	2	◎言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に語彙を豊かにし、学習課題に沿って、行事を説明する文章を書こうとしている。
聞き取りメモのくふう【コラム】話し方や聞き方から伝わること	6	◎必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えることができる。	・相手を見て話したり聞いたりしている。 ・比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。	「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉えている。	積極的に必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、学習課題に沿って、工夫してメモを取ったり、それをもとに発表したりしようとしている。	
5	漢字の広場①	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って文を書こうとしている。
	筆者の考えをとらえて、自分の考えを発表しよう「思いやりのデザイン」「アップとルーズで伝える」【じょうほう】考えと例	8	◎考えとそれを支える理由や事例との関係について理解することができる。 ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。	・段落の役割について理解している。 ・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解している。	・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	考えとそれを支える理由や事例との関係などを捉えることに積極的に取り組み、学習課題に沿って自分の考えを発表しようとしている。
	カンジーはかせの都道府県の旅1	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。		進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
	お礼の気持ちを伝えよう	6	◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えることができる。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 ・丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書いている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	書く内容の中心を明確にし、構成を考えることに進んで取り組み、これまでの経験をいかして手紙を書こうとしている。
6	漢字の広場②	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って文を書こうとしている。
	場面の様子をくらべて読み、感想を書こう「一つの花」	7	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、学習課題に沿って、物語の感想を書こうとしている。
	つなぎ言葉のはたらきを知ろう	2	◎接続する語句の役割について理解することができる。	接続する語句の役割について理解している。		接続する語句の役割を積極的に理解し、これまでの学習や経験をいかして、接続する語句を使い分けようとしている。
	短歌・俳句に親しもう(一)	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。		進んで言葉の響きやリズムに親しみ、これまでの学習をいかして、音読したり暗唱したりしようとしている。

	【じょうほう】要約するとき	2	◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。	積極的に目的を意識して、中心となる語や文を見つけ、学習課題に沿って、文章を要約しようとしている。
	新聞を作ろう【コラム】アンケート調査のしかた	12	◎相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 ◎書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができる。	比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方、引用のしかたや出典の示し方を理解し使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	進んで相手や目的を意識して、経験したことから書くことを選び、構成を考え、学習の見通しをもって学級新聞を作ろうとしている。
7	カンジーはかせの都道府県の旅2	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使うことができる。	第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、文や文章の中で使っている。		進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、漸次書き、学習課題に沿って、都道府県名を使った文を作ろうとしている。
	夏の楽しみ	2	◎言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	積極的に語彙を豊かにし、学習課題に沿って、行事の様子を俳句で表そうとしている。
	事実にもとづいて書かれた本を読もう「ランドセルは海をこえて」	5	◎幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。	幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	進んで幅広く読書に親しみ、学習の見通しをもって、読んだ本をポップ等で紹介しようとしている。
9	忘れものぼくは川	2	◎詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	詩全体の構成や内容の大体を意識しながら音読している。	・「読むこと」において、詩を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、詩を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	詩を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って、詩を読んだ感想を述べようとしている。
	あなたなら、どう言う	3	◎目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づいている。 ・考えとそれを支える理由や事例との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、必要なことを記録したり質問したりしながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの中心を捉え、自分の考えをもっている。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認して話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	学習課題に沿って、さまざまな立場でやり取りを行い、互いの意見の共通点や相違点に着目して積極的に考えをまとめようとしている。
	パンフレットを読もう	2	◎パンフレットを読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけている。 ・「読むこと」において、パンフレットを読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って、パンフレットの工夫について話し合おうとしている。
	いろいろな意味をもつ言葉	2	◎様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増すとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増すとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。 ・国語辞書の使い方を理解し使っている。		進んで語彙を豊かにし、学習課題に沿って、国語辞典で言葉の意味を調べたり、言葉遊びの詩を作ったりしようとしている。
	漢字の広場③	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	・第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・接続する語句の役割について理解している。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って文を書こうとしている。
	気持ちの変化を読み、考えたことを話し合おう「ごんぎつね」	12	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりや結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	学習の見通しをもって、読んで考えたことを話し合い、一人一人の感じ方などに違いがあることに積極的に気づこうとしている。
10	秋の楽しみ	2	◎言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に語彙を豊かにし、学習課題に沿って、行事の楽しさを伝える手紙を書こうとしている。
	クラスみんなで決めるには	8	◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。	比較や分類のしかた、必要な語句などの書き留め方を理解し使っている。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいく。 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	学習の見通しをもって、進んで司会などの役割を果たしながら話し合い、考えをまとめようとしている。
	漢字の広場④	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確認したりして、文や文章を整えている。	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って文を書こうとしている。
	中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう「世界にほこる和紙」【じょうほう】百科事典での調べ方 伝統工芸のよさを伝えよう	16	◎事典の使い方を理解し使うことができる。 ◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ◎段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えることができる。 ◎目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。	・段落の役割について理解している。 ・事典の使い方を理解し使っている。 ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	・「書くこと」において、書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をついたり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考えている。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「読むこと」において、段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。	進んで中心となる語や文を見つけて要約したり、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係の書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、調べて分かったことなどをまとめて書こうとしている。

11	慣用句	2	◎長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使うことができる。	長い間使われてきた慣用句の意味を知り、使っている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	進んで慣用句の意味を知り、学習課題に沿って慣用句を使おうとしている。
	短歌・俳句に親しもう(二)	1	◎易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。		進んで言葉の響きやリズムに親しみ、これまでの学習をいかして、音読したり暗唱したりしようとしている。
	漢字の広場⑤	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って文を書こうとしている。
12	登場人物の変化を中心に読み、物語をしょうかいしよう「プラタナスの木」	8	◎登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	学習の見通しをもって、積極的に登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像し、物語の魅力を紹介する文章を書こうとしている。
	感動を言葉に	7	◎間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えることができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	学習の見通しをもって、心を動かされたときのことを詩に書き、進んで間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりしようとしている。
	冬の楽しみ	2	◎言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすることができる。	言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにしている。	「書くこと」において、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、伝えたいことを明確にしている。	積極的に語彙を豊かにし、学習課題に沿って、行事の楽しさを伝えるかるたを作ろうとしている。
1	自分だけの詩集を作ろう	4	◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。 ・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像している。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	学習の見通しをもって、集めた詩で詩集を作り、進んで読み合っ感じたことや考えたことを共有しようとしている。
	熟語の意味	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読むことができる。	第4学年までに配当されている漢字を読んでいる。		進んで第4学年までに配当されている漢字を読み、これまでの学習をいかして、漢字や熟語を正しく読んだり書いたりしようとしている。
	漢字の広場⑥	2	◎第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。	第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	進んで第3学年までに配当されている漢字を書き、学習課題に沿って文を書こうとしている。
	きょうみをもったことを中心に、しょうかいしよう「ウナギのなぞを追って」	8	◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	・「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 ・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	文章を読んで理解したことに基づいて、進んで感想や考えをもち、学習課題に沿って、教材文を紹介する文章を書こうとしている。
2	つながりに気をつけよう	4	◎主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解することができる。	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解している。	「書くこと」において、間違いを正したり、相手や目的を意識した表現になっているかを確かめたりして、文や文章を整えている。	進んで主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解し、これまでの学習をいかして、つながりに気をつけて文章を書こうとしている。
	もしものときにそなえよう	12	◎自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 ◎書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つげることができる。	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解している。	・「書くこと」において、相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。 ・「書くこと」において、書こうとしたことが明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけている。	学習の見通しをもって、調べたことを基に自分の考えを書き、読み合っ、進んで文章に対する感想や意見を伝え合おうとしている。
	調べて話そう、生活調査隊	8	◎相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すことができる。 ◎目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。 ◎話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫することができる。	・相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話している。 ・考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。	・「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいる。 ・「話すこと・聞くこと」において、相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えている。 ・「話すこと・聞くこと」において、話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫している。	進んで話の中心や話す場面を意識して、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などを工夫し、これまでの学習をいかして、調査の報告をしようとしている。

3	まちがしやすい漢字	2	◎第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書くことができる。	第4学年までに配当されている漢字を読み、第3学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第4学年に配当されている漢字を漸次書いている。		進んで第4学年までに配当されている漢字を読むとともに、第3学年までに配当されている漢字を書き、これまでの学習をいかして、漢字を正しく使うことに意欲をもとうとしている。
	読んで感じたことをまとめ、伝え合おう 「初雪のふる日」	7	◎文章を読んで理解したに基づいて、感想や考えをもつことができる。 ◎文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使い、語彙を豊かにしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。</li> <li>・「読むこと」において、文章を読んで理解したに基づいて、感想や考えをもっている。</li> <li>・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。</li> </ul>	学習の見通しをもって、進んで読んで感じたことをまとめて伝え合い、文章を読んで感じたことや考えたことを共有して、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づこうとしている。